

## 研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-210	14-022	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
<b>題名 (原題/訳)</b>		
Alcohol intake and risk of Parkinson's disease: a meta-analysis of observational studies. アルコール摂取とパーキンソン病リスク：観察研究のメタ解析		
<b>執筆者</b>		
Zhang D, Jiang H, Xie J.		
<b>掲載誌</b>		
Mov Disord. 2014 May;29(6):819-22. doi: 10.1002/mds.25863.		
<b>キーワード</b>		<b>PMID</b>
パーキンソン病、アルコール、メタ解析、観察研究		24590499
<b>要 旨</b>		
<b>目的：</b> アルコール摂取とパーキンソン病のリスクは未だ明らかにはされていない。		
<b>方法：</b> PubMedとEMBASEを用いてアルコールとパーキンソン病を検索用語として検索した。異質性の検討にはI <sup>2</sup> 統計量を用いて、固定効果モデル(I <sup>2</sup> <50)もしくは変量効果モデル(I <sup>2</sup> ≥50)を選択した。用量依存関係は制限3次スプラインを用いて検討した。研究の質は、出版バイアスはEgger testを用いて評価した。		
<b>結果：</b> 32 論文(前向き研究 8 編、マッチドケースコントロール研究 17 編、症例対照研究 7 編)、677,550 人 (9,994 症例) を採択した。飲酒量が少ない群を基準としたとき、飲酒量が多い群の、喫煙調整後のパーキンソン病の相対リスクは、前向き研究では 0.86 (95%信頼区間 (CI), 0.75-0.995) 、 マッチドケースコントロール研究 0.74 (95% CI, 0.58-0.96)、全研究では 0.78 (95%CI, 0.67-0.92)だった。酒の種類別にみると、ワインや蒸留酒には関連を認めなかったがビールは有意にパーキンソン病リスク低下に関連し(0.59; 95% CI, 0.39-0.90)、また性別にみると男性のみで有意にリスク低下を認めた(0.65; 95% CI, 0.47-0.90)。1日1杯の飲酒ごとに、パーキンソン病のリスクが5%減少する直線的な用量依存関係を認めた。		
<b>結論：</b> アルコール摂取、とりわけビール飲酒は、パーキンソン病のリスクに負に関連する可能性があった。		